

## 2007 年後期 三浦担当の専門教育科目:評価項目の提示

### 4 セメスター(2 年次生)

#### ● 社会心理学研究法

1/10 に実施した「総まとめ課題」を提出したことが成績評価対象となる最低条件である。

成績評価の手続きは下記に示すとおり。

総まとめ課題の得点については、問い合わせがあれば個別に開示する。

- 出席点と授業中レポート提出内容を加味した平常点(100 点満点)を算出...①
- 総まとめ課題(試験)を採点...②
- ①と②を比べ、高い方を60%、低い方を40%として、再度100 点満点で得点を算出(小数点以下は四捨五入)
- 以下の例外を除き、80 点以上を A、70-79 点を B、60-69 点を C、60 点未満を D とする...③
  1. ③が 60 点を上回っていても、総まとめ課題(試験)の得点が「平均一標準偏差」(27.27)よりも低い(著しく理解度が低いとみなされる)場合は、D とする
  2. ③が 60 点未満であっても、総まとめ課題(試験)の得点が平均よりも高い場合は、C とする

#### ● 専攻演習 I

プレゼンテーションをおこなったことが成績評価対象となる最低条件である。

プレゼンテーションの内容に、出席状況と演習中の参加態度を加味して総合的に評価した。

### 6 セメスター(3 年次生)

#### ● 対人心理学 II

定期試験を受験したことが成績評価対象となる最低条件である。

評価基準は、下記の通り。

定期試験の得点については、問い合わせがあれば個別に開示する。

- 大福帳提出状況 10 点
- 大福帳提出内容 10 点
- 小テストの結果 20 点
- 定期試験 60 点

#### ● 専攻演習 III

「ミニ卒」を提出したことが成績評価対象となる最低条件である。

ミニ卒の内容に、出席状況と後期中の作業過程での努力の程度を加味して総合的に評価した。

#### ● 社会心理学実習 II

レポートを提出したことが成績評価対象となる最低条件である。

レポートの内容に、出席状況と実習中の参加態度を加味して総合的に評価した。